

# 『八劍さん』



第 82 号

令和 3 年 6 月 1 日

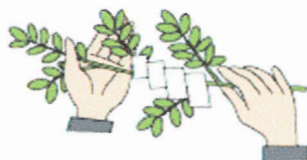
八劍神社宮司 富田克俊

宮司もの申す

## 左上位の文化 ①

▲トランプ氏も左上位で賜杯を授与

▼ 玉串たまぐしを持つ際、右図の様に持ちます。



この様に持った櫛を参拝者に手渡す時、これを反転させ右手に櫛の上部、左手が下部となるよう持ち替えます。こうすると、受け取る側が玉串の上部を左手で持つことができるからです。この様にする理由は、左が右より上位とする神道の考え方からきています。これは日本古来の伝統に由来し、律りつりょう令時代、左大臣が右大臣よりも身分が上であったことなどからもよく理解できます。また、日本の国技、大相撲でも賜杯しはいを渡す際、力士の左手側に上部がいく様手渡されています。



向って右側(左上位)に  
立たれる明治天皇

▼ 時代の流れの中で上位が左右逆になってしまった例があります。雛人形ひなにんぎょうもその一例です。現在では京都や関西の一部を除いて内裏雛は向かって左側に飾ります。もともと、この飾り方だと内裏雛すなわち天皇の側から見て皇后の右に位置し、天皇が皇后より下位になってしまいます。



向かって右側の内裏様

ところが、江戸や明治の古い時代の飾りを見ると内裏雛が左側に位置しています。(右上写真参照) これなら内裏雛は向かって右に位置し、左上位になります。

左から右に上位が移った理由は、天皇の立ち位置の変化によるとされます。大正天皇の頃からとされますが、昭和天皇即位の際は正式に向かって左側に立たれました。国際化を意識し、西欧の右上位に合わせたからと言われます。

▼ 西洋の右上位の伝統は、Rightライトという言葉を見ると理解できます。

Right は「右」であると同時に「正しい」という意味にも使われます。国際化で右上位が我々の生活に浸透してきています。小中学校の運動会ではオリンピックを意識し全て右上位で行われますし、高校野球などでも球児達は右上位で優勝旗を手にします。(写真左)

逆に、前述の様に大相撲では賜杯や優勝旗の授与で左上位を守っています。(写真右)

